

内容の解説と配慮事項

(5) 季節の変化と生活

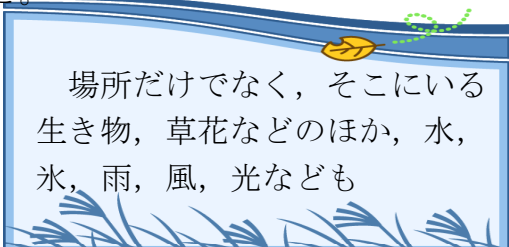
身近な自然を観察したり，季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして，四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気付き，自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

1 身近な自然を観察する

実際に野外に出かけ，諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合うことや，自分なりの思いや願いをもって進んで自然とかかわることなど。

＜身近な自然＞

- ・ 繰り返しかかわることができる自然
- ・ 四季の変化を実感するのにふさわしい自然



場所だけでなく，そこにいる生き物，草花などのほか，水，氷，雨，風，光なども

2 四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気付き

季節や地域の特色にかかわる活動



季節の移り変わりや季節と自分たちの生活との関連に気付く



自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりする
(例)・教室に季節の花を飾る
・春さがしに出かけよう など

【配慮事項】

- 季節や地域の行事には，児童の実態に応じ，実際に参加しながら学習を進めることが大切である。
- この単元は，他の内容との関連を図り，年間を通して継続的に扱うことも考えられる。特に，内容(3)，(6)，(7)，(8)との関連させて，創意工夫ある指導計画を作成する。

《第3学年理科との違い》

- ・ 諸感覚を使う活動である。
- ・ 客観的でなくても，自分とのかかわりでの気付きを大切にする。